

(様式2)

「秋田大学学生海外短期研修支援事業」実施報告書 (参加学生)

平成 23年 9月 27日

所属：教育文化学部 2学年

氏名：宮川まりあ

研修先大学・機関名等 (国)：フライブルク大学 (ドイツ)

在籍身分：学生

渡航年月日：23年 8月 6日

帰国年月日：23年 9月 3日

○研修先での学習内容等

午前中はドイツ語の授業があります。レベル別の少数のクラスで、全てのクラスがドイツ人のネイティブの先生によって行われました。会話中心で、生活の中で使う生きたドイツ語を学ぶことができましたと思います。

午後はドイツの政治・文化・教育・政策など、様々な分野について、日本語での授業が開講されました。参加は自由でしたが、自分がドイツについてあまり知識を持っていなかったことを改めて感じられたので、出席して良かったと思いました。講義はとても面白かったです。

○研修期間の生活面について

自由時間もたくさんあるので、ショッピングやスポーツ観戦など、ドイツでの生活を満喫することができました。午後の講義がない日にはレクレーションプログラムが計画されていて、フランスの街に行ったり、ドイツの料理や音楽に触れることができ、毎日充実した時間を過ごすことができました。

また、ドイツに滞在している間は学生寮に入ります。同じ寮のドイツ人の方々や他国からの留学生の方々とコミュニケーションをとったことはすごくいい体験になりました。

○研修期間全般にわたる感想

日本全国から学生が参加しているので安心感があり、違う大学の人と友達になれたこともとてもいいことだったと思います。事務局には常に日本語を話すことのできるスタッフがいて、その点でも安心でした。ただ、日本人といるとどうしても日本語で話してしまうので、国際ナショナルコースという、海外の様々な学校から学生が参加できるコースへの参加も、英語が

(様式2)

できるならいいと思います (私が参加したのは日本人向けのコースでした)。
ドイツで道を聞いたり、料理を注文したりという日常会話を自然に身につけることができた気がします。

○今後の勉強計画

ドイツ人の学生の方と話をするときは、そこまでのドイツ語の力がなく英語で会話していたので、次にこのような機会があったら今度はもっとドイツ語で話せるように、ドイツ語をもっと単語を集めたいと思います。また、英語の大切さも実感したので、TOEFL や TOEIC などの勉強を通してスムーズなコミュニケーションがとれるだけの力をつけたいです。



(様式 2)

